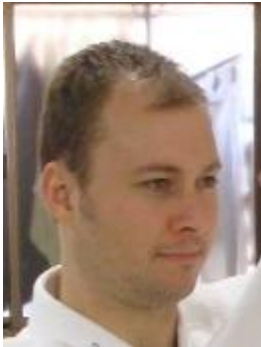


## 予想できなかった日本との出会い

アンドレアス・アルムクイスト



私は今、タイのコウランタ島の砂浜でくつろいでいるところです。数日前に日本で内弟子生活を終えたばかりなのですが、いまだに日本で何が起きたのか正確に理解していません。一言ではとても言い切れない経験でした。最初に日本について時には何も予想できませんでした。ただ一つ言える事は一生に一度の経験である、ということを感じた事でした。結果として、色々楽しい事があったり、素晴らしい場所を見たり、大勢の人たちに会ったりしました。もちろん、合気道の稽古も数多くこなすこともできました。稽古に稽古を重ねて体が痛くなるまで稽古したものです。この内弟子体験を通して、自分自身の事を少し解できる様な気がしました。技を繰り返し行って覚えるという経験を通し、本当のチャレンジは体が疲れている時にこそ、気持ちを強くする事だと理解しました。

私が住み込んでいた頃には大勢の内弟子が泊まっていました。小林道場の40周年の行事に合わせて長期滞在する者が多かったのです。しかし大勢居ると掃除が非常に早く済みます。皆と一緒に掃除すれば早いのですが、たまに何もやらない人が居て、そのような者がいると正直雰囲気が悪くなります。体は疲労しているのですが、やる事は大体決まっているので案外楽でした。日程は毎日同じ。起床は4時50分。朝稽古が無い日は7時半です。稽古の無い日には風呂屋に行ったりもしました。風呂屋とそこでのマッサージはとても快適でした。内弟子生活は私の魂に良く、温泉は私の体に良いもので



でした。とてもリラックスでき、まったく飽きることがありませんでした。

日本滞在中にとっても素晴らしい人たちに出会いました。また、新しい友達を作りました。まずいつも笑みを絶やさない道場長。そしてにこやかな弘明先生。弘明先生の美しい奥さんの美代子さんと娘の香穂ちゃんもにこにこです。だが道場



での合気道も凄い。美代子さんが用意してくれる水曜日の朝ご飯は素晴らしかったです。彼女無しの内弟子生活は全然考えられません。小林道場の指導員、特に、小柳先生と笠原先生にはお世話になりました。笠原先生の非常にまめな掃除する姿には学ぶことが多かったです。そして小林道場の会員たちにも色々とお世話になりました。

この感想文を読んでいるあなたに聞きます。あなたはなぜ内弟子になりたいと考えていますか。

皆に奉仕する事、そして十分に睡眠をとる事に留意することです。ここでは日本の文化やパーティーの事は何も言いません。なぜならそれらはあなた自身で経験してもらいたいからです。

私は非常に良い経験をしたので、また行きたいと思います。

